

小売部会における議論の進め方について

東京都食品ロス削減パートナーシップ会議では、賞味期限の長い加工食について、主にサプライチェーンマネジメントに掛かる商慣習などを中心に議論を展開してきた。

小売店は、消費者が日々食品を購入する場所であり、その消費行動により 小売店舗において日々食品ロスが発生しているだけでなく、購入した食品を使い切れなければ、各家庭での食品ロスにもつながる。このように、食品小売店舗は、食品ロスの削減を進める上で、消費者の食品に対する購買行動を啓発する拠点としても、極めて重要な場所でもある。

そこで、今回新たに設置された小売部会では、消費者の食品の購買行動及び、店舗の販売方法などに焦点を当て、食品ロス削減の取組を議論していくこととする。

なお、納品期限の緩和の取組、1 / 3ルールなど、これまで議論していた内容については、引き続きパートナーシップ会議本体で議論を行うこととする。